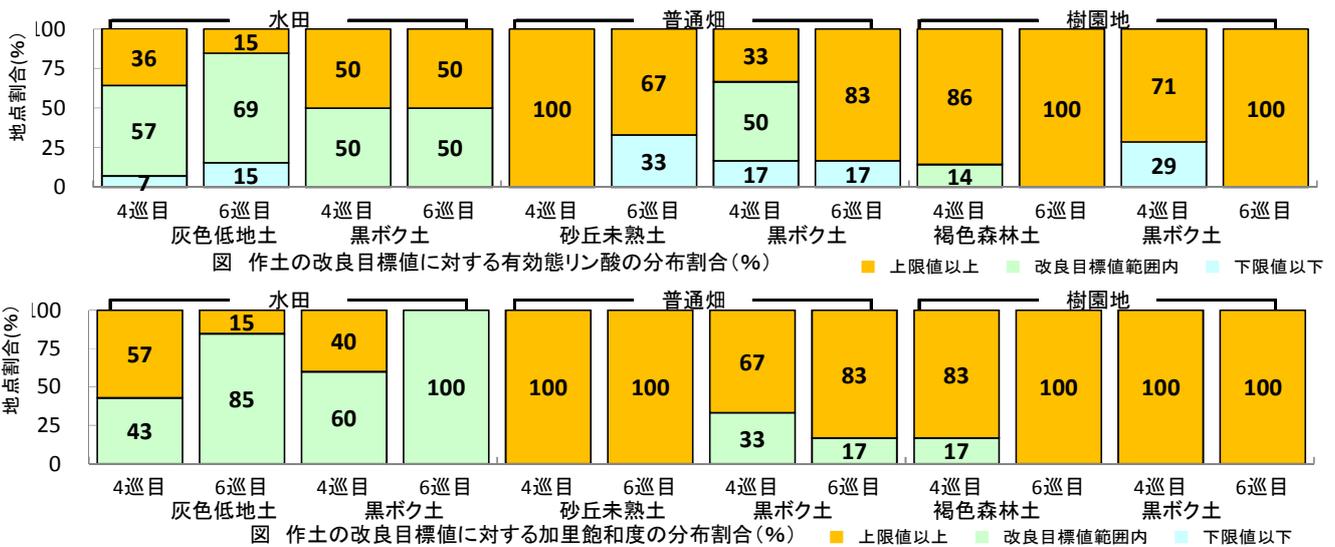


# 鳥取県における土壌機能モニタリング調査に見る 農耕地土壌の変化の特徴と傾向

農業試験場では昭和54年から5年を1巡として、県内農耕地土壌の調査を行っています。  
今回は4～6巡目(平成6～20年)の調査結果についてお知らせします。



## 水田

有効態リン酸および加里飽和度は目標値の範囲にあるほ場の割合が増加。

## 普通畑

加里飽和度は増加傾向。有効態リン酸は砂丘未熟土では低下傾向、黒ボク土では増加傾向。

## 樹園地

加里飽和度、有効態リン酸ともに6巡目の調査ではすべてのほ場で目標値の上限値以上。

傾向は項目により異なります

## ☆改良目標値範囲内の項目と目標値以下で

推移し、増加傾向が見られない項目、目標値以上で推移し、減少傾向が見られない項目が混在しています。このため、**土壌診断に基づき、項目ごとに施用量を検討**する必要があります。

鳥取県土壌の化学性(作土)

	土壌	項目	調査時期			変化	目標値との 適合判定	改良目標値	
			4巡目	5巡目	6巡目				
水田	灰色低地土 (15)	pH(H <sub>2</sub> O)	5.7	5.8	5.8	→	○	5.5~6.5	
		可給態リン酸(mg/100g)	25.9	21.4	19.0	↓	○	10~30	
		可給態窒素(mg/100g)	13.1	13.3	15.3	→	○	10~20	
		交換性石灰	(mg/100g)	199.3	190.2	158.8	↓		
			飽和度(%)	47.1	49.1	42.8	↓	▼	50~70
		交換性苦土	(mg/100g)	30.7	32.0	26.9	↓		
			飽和度(%)	10.0	11.2	9.9	→	▼	10~15
		交換性加里	(mg/100g)	23.6	18.7	14.6	↓		
			飽和度(%)	5.7	4.2	3.7	↓	○	2~5
	作土厚(cm)	14.9	14.0	14.8	→	▼	15≤		
	次層硬度(mm)	19.6	20.2	17.8	↓	○	20≥		
	黒ボク土 (5)	pH(H <sub>2</sub> O)	5.9	5.6	5.9	→	○	5.5~6.5	
		可給態リン酸(mg/100g)	49.0	54.5	37.6	↓	△	10~30	
		可給態窒素(mg/100g)	9.8	14.5	10.9	→	○	10~20	
		交換性石灰	(mg/100g)	324.2	283.8	258.1	↓		
			飽和度(%)	50.6	48.3	47.7	→	▼	50~70
		交換性苦土	(mg/100g)	38.4	36.4	31.5	↓		
			飽和度(%)	8.5	8.6	7.7	↓	▼	10~15
交換性加里		(mg/100g)	26.8	18.5	19.5	↓			
		飽和度(%)	3.5	3.0	3.4	→	○	2~5	
作土厚(cm)	15.6	19.2	14.4	→	▼	15≤			
次層硬度(mm)	17.0	17.4	18.4	↑	○	20≥			
普通畑	砂丘未熟土 (3)	pH(H <sub>2</sub> O)	6.1	6.6	6.1	→	○	6.0~6.5	
		可給態リン酸(mg/100g)	132.7	85.6	81.6	↓	△	20~40	
		可給態窒素(mg/100g)	1.5	2.0	1.3	→	▼	5≤	
		交換性石灰	(mg/100g)	66.3	64.5	63.0	↓		
			飽和度(%)	42.9	55.9	63.5	↑	○	60~70
		交換性苦土	(mg/100g)	10.0	10.3	9.0	↓		
			飽和度(%)	9.0	12.1	12.6	↑	○	10~15
		交換性加里	(mg/100g)	11.0	8.5	10.4	→		
			飽和度(%)	8.4	9.2	12.6	↑	△	2~5
	黒ボク土 (6)	pH(H <sub>2</sub> O)	6.3	6.4	6.3	→	○	6.0~6.5	
		可給態リン酸(mg/100g)	53.4	54.1	64.1	↑	△	10~30	
		可給態窒素(mg/100g)	2.3	1.9	2.2	→	▼	5≤	
		交換性石灰	(mg/100g)	444.7	283.3	352.2	→		
			飽和度(%)	51.1	49.8	53.4	→	▼	60~70
		交換性苦土	(mg/100g)	73.2	75.0	93.7	↑		
			飽和度(%)	13.0	16.3	19.9	↑	△	10~15
		交換性加里	(mg/100g)	86.5	98.8	83.7	→		
			飽和度(%)	11.5	15.9	12.8	→	△	2~5
樹園地	褐色森林土 (7)	pH(H <sub>2</sub> O)	5.6	5.3	5.3	→	▼	5.5~6.5	
		可給態リン酸(mg/100g)	98.3	134.3	172.7	↑	△	20~40	
		可給態窒素(mg/100g)	6.4	7.0	5.8	→			
		交換性石灰	(mg/100g)	355.3	384.6	236.6	↓		
			飽和度(%)	43.4	36.1	31.9	↓	▼	60~70
		交換性苦土	(mg/100g)	52.9	59.7	34.8	↓		
			飽和度(%)	10.1	9.3	6.7	↓	▼	10~15
		交換性加里	(mg/100g)	74.3	100.6	101.4	↑		
			飽和度(%)	10.6	16.6	11.2	→	△	2~5
	黒ボク土 (6)	pH(H <sub>2</sub> O)	5.8	5.9	6.1	→	○	5.5~6.5	
		可給態リン酸(mg/100g)	94.1	91.8	105.7	↑	△	10~30	
		可給態窒素(mg/100g)	5.1	5.0	6.9	↑			
		交換性石灰	(mg/100g)	508.7	565.2	727.6	↑		
			飽和度(%)	50.9	67.5	63.6	↑	○	60~70
		交換性苦土	(mg/100g)	70.1	67.3	77.6	↑		
			飽和度(%)	10.3	10.5	10.0	→	○	10~15
		交換性加里	(mg/100g)	116.7	100.9	84.7	↓		
			飽和度(%)	12.6	11.9	7.9	↓	△	2~5

- ・調査時期は、4巡目：平成6~10年、5巡目：平成11~15年、6巡目：平成16~20年。
- ・土壌欄の括弧内の数字は調査点数を表す。
- ・↑は増加傾向、→は一定の傾向なし、↓は減少傾向を表す。
- ・適合判定は6巡目の数値を用いた。
- ・適合判定の欄の○は目標値の範囲内にあること、△は目標値を上回ること、▼は目標値を下回ることを表す。
- ・改良目標値は鳥取県土壌診断指針による。

問い合わせ先：鳥取県農林総合研究所農業試験場 環境研究室 電話：0857-53-0721

本書から転載複製する際は、必ず上記に許可を受けてください。